

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 36

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



NPO法人「ADESOC」から

チャールズ校長より

ウムチョムゥイーザ学園を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。

そして、家族にとって大切な子ども達をウムチョムゥイーザ学園に託して下さった保護者の皆様、当学園で一生懸命勉強し、努力した子ども達にも「ありがとう」と感謝します。

当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜みずにご与えてくださっている日本の皆様の寛大なご協力を頂きました。それらの支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育にも尽くすことが出来ました。

今回はNPO法人「ADESOC」から、過去を振り返りながら未来を展望してみたいと思います。

- 1 この学園を作るきっかけになったのはルワンダが不安定な状況を送っていた1991年にさかのぼります。その時は若者達が戦争から逃げ惑い人権が踏みつけられていた時代です。その状況の中で戦争に苦しむ若い一人一人に希望をもたらしたいと夢が湧いてきました。
- 2 その頃マリールイズはJICA派遣の青年海外協力隊と交流がありました。92年頃日本で研修を受けることが決まりました。その頃にルワンダでもNPO法人「ADESOC」を設立し活動をスタートさせました。日本の皆様との交流がそこから生まれました。
- 3 希望を持って努力の末ルワンダのギセニで初めての中学校をスタートさせ、セントパウロと名前をつけました。聖書によると教会を作った方ということです。彼が困難な状況の中で作ったのと同じ思いで学校を作りました。その初めての子ども達が2年間学んだ学校は1994年の内戦によって破壊され、夢は一瞬にして消えてしまいました。
- 4 再び夢を見せてくれたのが日本に渡ったマリールイズです。1997年一時帰国した時が、日本の皆様の応援を受けウムチョムゥイーザ学園設立のきっかけになりました。
- 5 2001年にキガリに開校し、今度は学べなかった小さい子ども達から教育をはじめることになりました。夢としては大学まで含む総合学園を作ることを目標に掲げてきました。

名前を「セントパウロ」から「ウムチョムゥイーザ」に変えたのですが、これは、ルワンダ語で「良い文化」という意味です。ルワンダの人々を苦しめた内戦によって、良い文化が壊されてしまったに違いない。考えてみたら虐殺に関わった人間は人としての文化をなくしてしまったからです。だから生き残るには良い文化を取り戻さなければならないと考えたのでした。

13年間を振り返ってみると、幼稚園と小学校を設立し最初の小学校卒業生は全国各地の高校3年生として学び続けています。ここまで子ども達を受け入れ続けることができ、日本の皆様の支援に深く感謝しております。さらにルワンダに派遣された日本の青年海外協力隊の方々に良い教育作りに関わり続けていただき、アートや音楽など子ども達の感性が広がっていることに感謝しております。

さて、今後の展望です。ルワンダは近隣諸国との平和を維持し、徐々に経済も発展してきています。様々な分野での高い技術を持つ人材育成などの応援を日本からいただいて子ども達の夢が社会人として実現できることを共に願いながら頑張っていきたいと思います。ご理解をいただければ幸いです。



てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」と呼ばれている照子さん(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。

皆さん、こんにちは！お元気ですか？

私は今まで風邪ひとつひかず、ルワンダ生活2年目を迎えました。

美しい自然とおだやかな気候、温かな心と素朴で明るい笑顔に満ちた人々に溶け込んでの1年は、アツという間に過ぎました。

生活面では、自分でできることは全て自分です。できないと思ったことでもいろいろ工夫し考えてやってみる。どうしてもできないことは助けてもらうという方針でやってきました。

会話は今だに挨拶程度しかできません。言葉を聞き取ることがとても難しいのです。キニアルワンダの宿題で、答えは分かってもキニアルワンダで文章を書くことができないし、だれかに聞くにしても言葉が話せないの、ルイズに「私の答えをキニアルワンダに翻訳して」と、SOSをだした事もありました。

単語を今日覚えても明日には忘れてしまうの繰り返しですが、「できないのは当たり前」とやり続けております。いつの日か、ルイズが日本語をスラスラ話すように、私もキニアルワンダをスラスラ話す事ができる日を夢みてね……

さあ、来年から本格的な活動開始です。こちらは1月が学期始めなので、幼児クラスと低学年クラスの授業を始めます。理論理屈は抜きにして、音やリズムを楽しみ一緒に歌い踊ります。体はすてきな楽器です。音感やリズム感に恵まれた子供達の可愛い楽器(?)を介して、文字どおり「音を楽しむ」音楽の授業を致します。



最後になりましたが、9月6日東大の渋谷教授とルイズがルワンダへ来た時、小川大使から校長夫妻も一緒に、夕食にご招待されました。その時大使ご夫妻が、日本語が分からない校長夫妻には、フランス語や英語で話し、両方分からない私には何を話したのか日本語で通訳して下さるとい、きめ細やかな心遣いをされました。それがなんの銜いもなく

自然な姿なので、感謝と共に深い感銘を受けました。大使は「ルワンダの良さを、多くの日本の方にお伝えします」とお話下さいました。短時間ご一緒ただけですが、大使ご夫妻からたくさんの事を学びました。本当にありがたいことです。

2013.10.18



それでは、また。お元気で…… IZUBA照子

ーお知らせー

学園建設・運営から13年になりますが、授業料の払えない子ども達も払える払えないかではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいています、趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

正会員年5,000円賛助会員年10,000円を随時募集しております。ぜひ活動にご参加ください。

月一口500円からのご寄付も100人を目標に募集しています。申込み用紙は当会ホームページにも掲載しております。

ルワンダ MARABA コーヒー

| 商品名 | | ルワンダ | マラバ | コーヒー |
|------|----|--------|--------|------|
| 200g | 1個 | 1,200円 | 最小購入回数 | 5個 |
| 300g | 1個 | 1,800円 | 最小購入回数 | 5個 |
| 500g | 1個 | 3,000円 | 最小購入回数 | 2個 |

本会メールにて受付中
info@rwanda-npo.org



ルワンダ写真展 ・インふくしま



『写真でみるルワンダって
どんなところ』

『ウムチヨムィーザ学園の様子』

日時 平成26年1月4日(土)
～8日(水)

午前10時～午後5時

場所 コラッセふくしま 1F
(福島県福島市三河南町1-20)

入場無料

1月5日(日) 14:00～
15:30

JICAボランティアセミナー

☆ JICA全体の事業について

☆ 体験発表 甲斐正信

(H22年度ルワンダ土木派遣)

コラッセふくしま

3F会議室

入場無料





2013年4月23日～8月11日の学費の納入状況の報告

単位：人 *時価換算による。単位：円

| 納入状況 | 幼稚園 | | | 小学校 | | | | | | 合計 | 金額 |
|----------------|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----------|
| | 年少 | 年中 | 年長 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | |
| 100% | 12 | 10 | 12 | 8 | 9 | 14 | 9 | 12 | 9 | 95 | 912,950 |
| その他 | 8 | 10 | 17 | 8 | 11 | 11 | 8 | 6 | 8 | 87 | 618,300 |
| 0% | 0 | 3 | 2 | 5 | 3 | 1 | 8 | 12 | 3 | 37 | 0 |
| 合計 | 20 | 23 | 31 | 21 | 23 | 26 | 25 | 30 | 20 | 219 | 1,531,250 |
| 予算額 | | | | | | | | | | | 2,104,590 |
| 不足金額(日本からの支援額) | | | | | | | | | | | 573,340 |

※ 2学期 65,000 ルワンダフラン (約9,610円) 8/30 現在
 時価換算のため日によって目減りしたり・・・送金時期がむずかしいです。



ウムチョムイーザ学園の会計報告 2013年2学期(4月23日～8月11日)

| 〔収入〕 | | 〔支出〕 | | 円換算 | |
|--------------|-----------|--------|-----------|----------|-----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 学費 | 1,531,250 | 職員への給料 | 1,107,460 | 補修費 | 139,740 |
| 考える会からの支援 | 1,728,820 | 年金掛金 | 113,984 | 保健衛生費 | 1,079 |
| 入学登録料 | 0 | 給料用税金 | 189,939 | 職員へ前借り | 24,397 |
| バス運行収入 | 20,700 | 食費 | 44,245 | 備品 | 0 |
| 水販売収入 | 296 | 光熱費 | 21,735 | 建設費 | 687,921 |
| 家畜収入(やぎ・うさぎ) | 0 | 通信費 | 30,717 | 慶弔その他交際費 | 64,392 |
| その他の収入 | 253,930 | 印刷費 | 61,155 | 銀行手数料 | 46,697 |
| 個人寄付 | 0 | 交通費 | 127,028 | 保険金 | 261,338 |
| 補助金 | 0 | 会議費 | 67,147 | 支援金 | 30,932 |
| 立替の戻し | 7,393 | 研修費 | 443,110 | 技術専門学校準備 | 8,871 |
| 繰越金 | 335,955 | 小計 | 2,206,520 | 小計 | 1,264,367 |
| 合計 | 3,878,344 | | | 合計 | 3,471,887 |
| | | | | 差し引き | 406,457 |

新潟からの給食プロジェクト支援

【建設中の給食室】

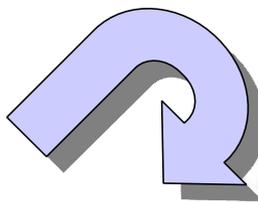
2011年12月より送金開始



2012. 3. 10



2012. 9. 4



2013. 10. 21



2013. 5. 17

2014年には、
おいしい給食が・・・
楽しみです

ルイズさんとの出会い～ルワンダ DAY in ふくしま

紺野 由香里

マリールイズさんと出会ったのは、2012年の12月でした。

(正確には2009年12月だったかとは思いますが)

子ども対象のイベントで、ルイズさんがルワンダコーヒーの出店をされていた時でした。そのイベントで歌っていた私に声をかけて頂いたことから今に至ります。

その時に、ルイズさんが二本松市内の仮設住宅でボランティアを行っていることを知り、今年の2月から仮設住宅での、ルワンダカフェ&ミニコンサートを行なうことになりました。

この仮設住宅では、ルイズさんたちが献身的に続けてこられたボランティアによって、少しずつ住民の方々の気持ちもほぐれ、笑顔をたくさん見ることができたり、自分から話をされたりと、少しずつ変化がみられました。そして、私自身の中にも変化が芽生え始め、「人に寄り添う」という気持ちが大きく変わりました。

ボランティアに行き始めてから「人のために歌いたい」と以前から思っ
てはいましたが、人の近くに寄り添って歌うことの大切さを痛感したので
す。

7月に行われた「ルワンダ DAY in ふくしま」においても歌わせて頂きました。三春町のライスレイクにて、みなさんの近くで、アットホームな雰囲気の中で歌うことができ、一体感や聴く方の気持ちを感じ取りながら歌うことができた時間になりました。

またルイズさんの講演を聴き、今後どのようにしていったらよいかと、自分を奮い立たせる機会になりました。

マリールイズさんに出会ったこと、そしてそれを支える皆さんに出会ったことに感謝すると共に、今後の私の人生に影響を与えて下さったことに感謝しています。



NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS!! ルワンダ DAY in ふくしま

日時 2013年7月15日(月 海の日) 開演13:30

場所 三春町国際交流館 ライスレイクの家



第1部ルワンダ出身の当会理事長によるルワンダの子ども達の現状と仮設住宅への訪問等1年間の当会の活動報告と第2部紺野由香里さん本多裕子さんによるほのぼのコンサートを通じて国際理解と平和教育の大切さを感じていただくことを趣旨として三春町国際交流協会様をはじめ各団体様によるご理解と協賛金、ご支援により行事を成功させることが出来ました。心から感謝申し上げます。

また、当日はたくさんのスタッフが活躍してくれました。お互い忙しい日常をかかえてる中で、ほとんど打ち合わせもなかったのですが、会場設営・展示物担当・ルワンダ料理担当等・・・チームワークで乗り切ることが出来ました。これからも、よろしくお願いいたします。



アンケート結果



第1部 マリールイズの講演の感想

- ・ルワンダの子ども達の「ビリーブ」という歌の合唱DVDが良かったです。ルワンダのことを少し知ることができた。
- ・ルイズさんの講演は何回聞いても感動的である。
- ・仮設住宅へのボランティアに感動しました。

第2部 ミニオペラコンサートの感想

- ・身近に生で素晴らしい歌を聴きました。うれしかったです！
- ・アットホームな雰囲気でのコンサート素晴らしかったです。日常を忘れ、良い時を過ごしました。
- ・知っている曲が多かったのでとても楽しめました。



今後のルワンダの教育を考える会について、アドバイスがありましたらお聞かせ下さい

- ・福島も頑張るのでルワンダも頑張つて、「未来は明るい」を信じていきましょうね。
- ・会の活動をより多くの人、より多くの場所でPRしてもっと多くの方に知っていただきたいですね。



【残高】 11,974円 をルワンダの子ども達のために大切にに使わせていただきます。

【収入の部】

| 項目 | 金額 | 備考 |
|------|--------|---------------|
| 協賛金 | 60,000 | 12社 |
| 物品販売 | 16,700 | コーヒー・紅茶・民芸品販売 |
| 会場募金 | 9,025 | |
| 計 | 85,725 | |

【支出の部】

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|--------|-----------|
| 会場費 | 25,000 | ライスレイクの家 |
| ルワンダ料理材料 | 10,911 | 肉・トマト缶等 |
| 印刷費 | 5,740 | チラシ・プログラム |
| 諸経費 | 32,100 | |
| 計 | 73,751 | |

ルワンダの子どもたちへ

ルワンダフルクリスマスキャンペーン

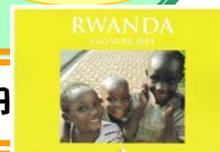


ルワンダフルクリスマスキャンペーン期間：
12月1日～12月31日

ルワンダの子どもたちへの募金箱を設置して
いただける場所を募集します！！
連絡をいただければ設置場所への依頼文を
送らせていただきます。



ルワンダの学校を支援する会提供 **ルワンダカレンダー 販売中 400円**



☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金（奨学基金もよろしくお願ひします。）

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

本年度の会費
納入状況をお
知らせします。

ゆうちょ口座自動振込み寄付 毎月月末締め切り 目標100名現在28名登録

ソーラー発電…ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

茶の間の放射線量 0.11 μ Sv/h で
も、りんごや柿は美味しいし四季の美
しさは変わらない。もうすぐ仮設住宅
にも冬がやってきます。くれぐれも風
邪などひきませぬように祈ります。



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カバング・マリルズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org

ルワンダフルクリスマスキャンペーンのお願い

年の瀬のあわただしさを感じるこのごろ、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。

NPO法人ルワンダの教育を考える会は、ルワンダの内戦で傷ついた子ども達に夢や希望をもってもらい、教育を受けることで平和を作っていける人材を育成したいと願い、アフリカのルワンダのキガリ市にウムチョムイーザ学園の建設・運営支援を続けております。小学校卒業生を送り出すことも今年で7年目になります。これもひとえに、皆様からのご寄付・募金そしてルイズの講演を企画等多大なるご支援をいただいたおかげと感謝申し上げます。

学校運営の主旨として、より多くの子ども達に教育を受ける機会が得られるようにしたいということで、貧困層の子ども達には授業料を免除して受け入れる、というような方法もとっています。

そのためには一人でも多くの方々にご理解とご支援をいただきたいと願っております。

そこで、ルワンダフルクリスマスキャンペーンとして12月1日から12月31日まで、募金箱を設置していただける場所をお借りしたくお願い申し上げます。

ご多忙中の折、誠に勝手なお願いで恐縮に存じますが、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



2013年12月吉日

ルワンダの教育を考える会
理事長 カバング・マリルズ
〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目8-20

TEL/FAX:024-533-8289

<http://www.rwanda-npo.org>
e-mail:info@rwanda-npo.org